

個票

企画観光課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1_1_1 結婚支援センターに関する取組					
個別事業名		田舎館村ひろさき広域出愛サポートセンター運営事業				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)		257,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	257,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		255,000					
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	257,000	0	257,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	255,000	0	255,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	2,000	0	2,000
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 少子化の進行を抑制するため、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るとともに、結婚を希望する方の出会いの場の創出に取り組む。 結婚応援の取組としては、過年度に引き続き、婚姻者数の増加および結婚に対する意識の高揚を図るため、お見合いや婚活イベントなど、多様な出会いの場を創出し、結婚を望む独身者の交際・結婚へのきっかけ作りを実施する。 また、ライフプランセミナーを重点的に行い、EBPMを意識した事業を推進するため、事業対象者にアンケート調査等を行い、効果的な取組を行えるように留意する。 <本個別事業の位置付け> 平成28年度に「弘前圏域定住自立圏形成協定」に「婚活支援の推進」の取組を追加し、圏域全体に婚活支援を展開することで、多様な出会いの場の創出、成婚の促進及び定住人口の増加を図ることとしている。 「田舎館村第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「若者がいきいきと輝く・いなかたて(ひとの創生)」を政策目標に掲げ、戦略の一つとして、結婚・出産・子育て・教育の切れ目ない支援を掲げ、本事業は、婚活の取組を拡充し、若者の出会いの場を確保するための施策として位置付けられる。					

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	ひろさき広域出愛サポートセンターの運営	弘前圏域定住自立圏構成市町村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)が連携し、1対1のお見合い支援を行うサポートセンターを設置している。 基本的なマッチング方法は、会員が異性のプロフィール帳から会いたい相手を選び、センター事務局である出愛コーディネーター(弘前市会計年度任用職員)が相手にお見合いの申し出があった旨を連絡し、両者の同意が得られた場合にお見合いを実施するものである。特徴として、お見合いの際は冒頭の一定時間、出愛サポーター(住民ボランティア)が同席し二人の会話をサポートする。また、出愛サポーターは、会員と自身の知り合いの非会員とを引き合わせるができるため、より多くの出会いの場を提供することが可能である。 利用対象:18～59歳までの結婚を希望する独身男女で、 弘前圏域在住または結婚後に弘前圏域に住む意思があること 利用料 :登録料、年会費無料(※お見合い時には、サポーターへ500円の支払いあり) 利用期間:2年間(※更新可能) 【取組内容】 ①お見合い支援の実施 ②会員、連携団体等の獲得に向けた周知 ・各市町村の広報誌、ホームページ、各種SNSを活用した情報発信を実施する。 ・ひろさき広域出愛サポートセンター公式SNS等を活用したターゲティング広告配信を実施する。 ・センターHPへ誘導する二次元コードを掲載したPRステッカーを作成し、圏域市町村内の民間企業の施設等に掲示し、更なるセンターの周知に取り組む。(掲示場所はトイレ個室など他人の目が気にならない場所を想定) ③登録会及び平日夜間登録会の開催 ・センターの定休日である日曜日に、予約不要の会員登録会を開催し利便性の向上を図る。 ・平日夜間の予約不要会員登録会の開催時間を見直し、土日勤務の方、休日に出かけることにハードルを感じる方が登録しやすい体制を整える。 ④プロフィールカード相談会の開催 ・プロのカメラマンやヘアメイク、婚活を支援するサポーターのアドバイスを受けながら、プロフィールカードを作成する相談会を実施する。
	2		
	3		
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・平日夜間の予約不要会員登録会を開催したが、登録者の人数にばらつきがあったことから、開催時期・時間を見直し実施する。 ・男性限定のプロフィールカード相談会は、定員を上回る申込みがあったことから需要はあるものと考えているが、参加者が自分の長所・短所がわからない、問いかけをしても「なんとなく」と答えるなど、建設的なアドバイスが難しい方がいたことから、申込時に応募理由を記載していたなど見直しを図り、より効果的に実施する。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		率	1.50 (令和6年)	1.43 (平成30年～令和4年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.43 (平成30年～令和4年)	
	婚姻件数		件	20 (令和4年)	
	婚姻率			2.8 (令和4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	センター新規会員登録者数	人	100 (令和7年度)	100 (令和6年度見込み)
	②	ターゲティング広告リーチ数	人	1,992,000 (令和7年度)	1,494,000 (令和6年度見込み)
	③	平日夜間登録会参加者数	人	6 (令和7年度)	6 (令和6年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	82 (令和7年度)	81.9 (令和5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	引き合わせ成立件数(＝お見合い実施件数)	件	93 (令和7年度)	102 (令和6年度見込み)
	⑤	カップル成立件数(＝お見合い後の連絡先交換件数)	件	50 (令和7年度)	42 (令和6年度見込み)
	⑥	成婚件数	件	7 (令和7年度)	2 (令和6年12月末現在)
	⑦				
	⑧				